

# 6月11日改 広域配転阻止 展望した取り組みについて次のとおり伝達された。



86. 9. 16

No. 2352

## 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電二九三五)六(公衆)〇四七二二(七)〇七

動労千葉は、九月十日、第二回拡大執行委員会を開催し、いよいよ正念場中の正念場としてある「六一・一一ダイ改」「人材活用センター」「第二次広域配転」攻撃に対する九月十一月決戦・「第三波スト」を展望した取り組みについて次のとおり伝達された。

## 予盾の拡大に焦る敵陣営

九月十一日、臨時国会が召集され、国鉄関連八法案審議の「国鉄国会」と並行して国鉄当局は「一一月ダイ改」「広域配転」を強行せんとしており、情勢はいよいよ激しく動きだした。

旧国鉄への政府助成、三島基金、長期債務、共済、整備新幹線、等々何ひとつ解決できない。さらに、反動四組合は、主導権争いの中で亀裂を生じていて。当局は、動労革マルも鉄労も認めない、学生・職制グループの御用組合・「協議会」を新事業体の労組に据えようと考えている。敵の攻撃は矛盾の拡大と混乱の中で一層凶暴化している。

## 国労内「青友会」の反動的策動をうちくだけ！——「労使共同宣言締結」など断じて許されない！

動労千葉は二波の闘いをもつて「闘うことでしか団結は勝ちとれない、闘うことなくして道は拓かれない」ことを身をもつて鮮明にしてきた。

情勢は困難ではあるが、われわれに有利な情況でもある。激動は正念場でもあるが絶好のチャンスでもある。

国労は、一年前に十八万組織がいまや十三万に落ちこみ、何ひとつ闘う方針をださないまま崩壊過程に突入した。

東京新橋支部の運転職場をみよ。三月業務移管攻撃に対し闘うのではなく千葉から仕事を奪いとつた。いま、動労革マルの広域配転によつて本線乗務の殆んどを奪われてしまつた。千葉の国労をみよ。

動労千葉のバリケードの中で「青友会」グループは、千葉における労使共同宣言の画策をしていて。職場で苦闘する労組合員を足蹴にし、必死で「第三波」を闘い取つて、動労千葉に敵対し、「労使共同宣言」締結＝動労「本部」や真國労の革マル分子らと手を組もうとする「青友会グループ」の反動的策動を断じて許すわけにはいかない。

組織をガッチャリ守り、「六一・一一」「人活」「広域配転」を闘いぬこう。

## 当面する取り組み

- 1. 大会決定方針の骨子
- 2. (1) 動労革マル追放・一掃－動労大改革  
(2) 国鉄労働者の総決起へ－映画上映・物販運動の地域・全国への拡大
- 3. (1) 動労千葉支援基金・会員一万人獲得  
(2) 「人活センター」「広域異動」－組織破壊攻撃粉碎、「六一・一一ダイ改」阻止、「六二・四・一」分割・民営化阻止へ、「第三波」をも展望しつつ全力決起する。

- 4. 地域映画集会の成功へ向けて
- 5. 九月二〇日 館山（安房教育会館・十八時）  
九月二八日 勝浦（勝浦市民会館・十五時）  
映画上映－全国オルグについて
- 6. 物販運動について
- 7. その他